

まちづくりの目標	4	暮らしにやさしく笑顔があふれるまち
政策	3	誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします
施策	2	高齢者が地域で自立し生活できるまちにします
		担当部(統括部) 保健福祉部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
認知症の人とその家族が安心して地域で暮らすことができます。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	認知症支援プロジェクトによる事業を展開している	認知症支援に関する事業が拡充され、正しく理解している市民が増えている	認知症支援に関する事業が拡充され、正しく理解している市民がさらに増えている	認知症支援に関する社会資源が拡充されている	認知症支援に関する理解と社会資源が整っている	認知症の人とその家族が安心して地域で暮らすことができる環境が整っている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
多くの市民に地域包括支援センターなどの相談窓口や各種サービスが知られ、利用しやすくなっています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	相談窓口や各種サービスの広報活動を実施している	広報活動が拡充され、窓口や制度の周知が進んでいる	広報活動が拡充され、窓口や制度の周知がさらに進んでいる	制度の見直しが行われ、さらに利用しやすいものとなっている	相談窓口や各種サービスが周知され、利用しやすくなっている	相談窓口や各種サービスが充実するとともに、市民に周知され、利用しやすくなっている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
自ら介護予防や健康づくりに取り組む人が増えています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	介護予防教室・講座や健康づくりグループの支援を実施している	教室・講座の修了生による自主グループが増加している	教室・講座が活発に行われ、修了生による自主グループがさらに増加している	教室・講座が活発に行われ、修了生による自主グループがさらに増加している	自ら介護予防や健康づくりに取り組む人が増えている	自ら介護予防や健康づくりに取り組む人が増え、さらに取り組みが自主的に地域に広がっている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
認知症サポーター数(養成講座受講者数)	目標	—	—	—	—	1,100人	1,400人	1,700人	2,000人	2,300人	2,500人
	実績	27人	441人	629人	881人	1,347人					
地域包括支援センターへの相談件数	目標	—	—	—	—	260件	270件	280件	290件	300件	350件
	実績	212件	191件	244件	244件	254件					
健康づくり自主グループの数	目標	—	—	—	—	35グループ	36グループ	37グループ	38グループ	40グループ	50グループ
	実績	22グループ	28グループ	31グループ	34グループ	37グループ					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎地域ケアの体制の強化		平成25年度事業費計				
		1,891千円				
高齢者に対して、地域住民が温かく思いやりを持って見守りを行うことができるよう、地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能を強化します。						
平成25年度事業	高齢者権利擁護事業1,622千円・認知症・介護支援事業269千円(高齢介護課)					
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	ネットワーク団体による認知症支援の必要性の確認	ネットワーク活動の拡充	ネットワーク活動の拡充	ネットワーク活動の評価	ネットワーク活動の拡充	ネットワーク活動の評価
取組実績	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークを活用し、認知症高齢者の事例への対応、支援や権利擁護について協議を行った。					
成果	事例をとおして、有識者や市民からの認知症の方や家族への支援についての意見を集約することができた。					
次年度課題	認知症支援プロジェクトの活動実績を踏まえ、地域ケアの視点から認知症施策についての検討を行う必要がある。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	認知症支援プロジェクトによる事業展開	認知症支援プロジェクトによる事業の拡充	認知症支援プロジェクトによる事業の拡充	認知症支援プロジェクトによる事業の評価	認知症支援プロジェクトによる事業の拡充	認知症支援プロジェクトによる事業の評価
取組実績	認知症の方や家族に必要な支援策について企画・立案を行うためプロジェクト会議を12回開催した。					
成果	関係機関との連携がとりやすくなり課題の共有化ができた。					
次年度課題	徘徊SOSネットワークの構築について検討を行う。					

◎認知症の人に対する取組みの強化	平成25年度事業費計 269千円
------------------	---------------------

認知症に対する正しい知識の啓発活動を行います。また、認知症の人やその家族を支援するサービスを創設します。

平成25年度事業	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
認知症・介護支援事業269千円・認知症高齢者徘徊SOSネットワーク事業0円(高齢介護課)						
計画	サポーター養成講座の実施	サポーター養成講座の実施	サポーター養成講座の実施	サポーター養成講座の評価	サポーター養成講座の実施	サポーター養成講座の評価
取組実績	認知症について正しい知識の啓発をするため、サポーター養成講座を14回開催した。					
成果	サポーター養成講座には397人の方に認知症について正しい知識を習得していただくことができた。認知症サポーターは合計1,347人となった。					
次年度課題	引き続き認知症についての正しい理解を広める。					
計画	ボランティア養成講座の実施、ボランティアの育成・支援	ボランティア養成講座、ボランティアの育成・支援の拡充	ボランティア養成講座、ボランティアの育成・支援の拡充	ボランティア養成講座、ボランティアの育成・支援の評価	ボランティア養成講座、ボランティアの育成・支援の拡充	ボランティア養成講座、ボランティアの育成・支援の評価
取組実績	認知症の方や家族への支援について啓発するために、ボランティアグループ養成講座(全5回講座)を開催した。					
成果	ボランティアグループ養成講座には30人の参加があり、認知症の理解を深めボランティアグループの必要性を理解していただいた。					
次年度課題	各地域にボランティアグループ支援拠点を設定できるように、ボランティアグループを増やしていく必要がある。					
計画		徘徊のおそれがある高齢者の把握と対象者の早期発見のための情報伝達体制の構築				
取組実績						
成果						
次年度課題						

◎相談支援事業の充実						平成25年度事業費計
						50,633千円
コミュニティソーシャルワーク事業と一体的に取り組み、関係機関・団体との連携を強化するとともに、高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの機能を強化します。						
平成25年度事業	包括的地域支援事業50,633千円(高齢介護課)					
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	地域包括支援センターの今後の運営の在り方の方向性の決定	地域包括支援センターの移転を契機とした相談機能の拡充	地域包括支援センターの機能拡充	地域包括支援センターの機能の評価	地域包括支援センターの機能拡充	地域包括支援センターの機能の評価
取組実績	総合相談窓口としての機能の拡充のため、職員間の連携の強化が重要なテーマであることを確認し、地域包括支援センターに所属する各専門職員とコミュニティソーシャルワーカーとの連携強化を図った。					
成果	連携強化等の取り組みにより、地域包括支援センターでの相談処理数が増加した。					
次年度課題	第5期せつ高齢者ががやきプラン策定に係る「市民意向調査」において、地域包括支援センターの周知度が3割以下という結果になっており、周知度をさらに高め、相談機能の拡充を図っていくことが必要である。					

○介護予防、健康づくりの推進						平成25年度事業費計
						11,481千円
要支援・要介護状態になる恐れがある高齢者などに対する介護予防をより充実させるとともに、地域福祉活動拠点や公民館など既存施設を介護予防の拠点として利用促進します。また、「摂津みんなで体操三部作」の普及や自主グループの育成・支援などを進めます。						
平成25年度事業	通所型介護予防事業2,075千円・地域介護予防活動支援事業350千円(高齢介護課) 健康せつつ21推進事業9,056千円(保健福祉課)					
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	「お達者介護予防教室」を「はつらつ元気アップ教室」に再構築、開催場所の拡大	「はつらつ元気アップ教室」の継続実施	「はつらつ元気アップ教室」の拡充	「はつらつ元気アップ教室」の評価	「はつらつ元気アップ教室」の拡充	「はつらつ元気アップ教室」の評価
取組実績	「はつらつ元気アップ教室」の開催場所を地域の集会所を中心に行った。自主グループ化に向け、いきいき体操の会との連携を図った。					
成果	地域の集会所を利用したことにより継続しやすくなり、また、いきいき体操の会の支援により自主グループ数が増加した。					
次年度課題	「はつらつ元気アップ教室」の開催周知について各種団体(老人クラブ、民生委員、自治会)と連携を図る。					
計画	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の支援	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の支援	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の支援	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の支援	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の支援	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の支援
取組実績	いきいき体操の会と協働で、老人クラブ等に体力測定・体操普及に保健師も2回参加した。その他、いきいき体操の会の活動の相談支援を実施した。					
成果	いきいき体操の会の活動により、自主グループ等に主体的・継続的な活動が広がった。					
次年度課題	自主グループ化が難しいグループへの継続支援の方法を検討する。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	健康づくりグループ交流会の発表会に加え、研修会開催などの事業拡充	グループ交流会・研修会の支援の拡充	グループ交流会・研修会の支援の拡充	グループ交流会・研修会の支援の見直し	グループ交流会・研修会の支援	グループ交流会・研修会の支援の見直し
取組実績	健康づくりグループ向けにスキルアップと情報交換のための研修会(1回・91人参加)を開催した。					
成果	いきいき体操の会が中心となり、健康づくりグループの活動も活発になってきた。					
次年度課題	研修会、交流会がマンネリ化しないような仕組みづくりを検討する。					
計画	健康づくり推進リーダー養成講座の開催	健康づくり推進リーダー養成講座の開催	健康づくり推進リーダー養成講座の開催	健康づくり推進リーダー養成講座の開催	健康づくり推進リーダーが、食や運動関係だけでなく、他の健康づくりにも活動を拡大	健康づくり推進リーダーが、食や運動関係だけでなく、他の健康づくりにも活動を拡大
取組実績	食育推進リーダー養成講座を4回実施、19人の参加があった。					
成果	参加者のスキルアップになり、自主化につながった。					
次年度課題	食育推進リーダーが自主グループとして活動していく方法を検討する。					
計画	体操指導に人材の派遣やグッズの貸し出しを行い、活用状況を把握	体操指導に人材の派遣やグッズの貸し出しを行い、活用状況により今後の活動を検討	体操の実施やグッズの活用地域状況を分析	新たな支援体制づくりやグッズを活用した支援策を展開	地域やグループが健康体操を継続できるように支援	全小学校区で健康体操を実施するグループが結成されるように支援
取組実績	体操DVD等グッズの貸出を15団体に実施した。					
成果	貸出希望が多く、貸出期間も延びており活動が活発になった。					
次年度課題	グッズの貸出希望が多く、効率的に利用していただくための管理方法を検討する。					
計画	地区運動会における「摂津みんなで体操三部作」の活用を案内	地区運動会における「摂津みんなで体操三部作」の未活用地区に活用案内	地区運動会における「摂津みんなで体操三部作」の新たな活用地区に支援	地区運動会における「摂津みんなで体操三部作」の新たな活用地区に支援	全地区の運動会で摂津みんなで体操が実施されるように支援	全地区の運動会で摂津みんなで体操が継続できるように援
取組実績	昨年の5地区に加え、新たに千里丘地区市民体育祭にて体操を実施した。					
成果	地区市民体育祭で摂津みんなで体操三部作の取組活動が広がった。					
次年度課題	摂津みんなで体操三部作の普及・拡大の方法を検討する。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

認知症の人とその家族への支援						平成25年度事業費計 269千円
認知症に対する正しい知識の啓発として認知症サポーター養成講座を開催するとともに、認知症の人とその家族を支援する事業に取り組みます。						
平成25年度事業	認知症・介護支援事業269千円(高齢介護課)					
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	サポーター養成講座の拡充とボランティア養成支援などのプロジェクト活動の拡充	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業を拡充	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業を拡充	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業を拡充	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業を拡充	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業を拡充
取組実績	サポーター養成講座を14回開催(397人参加)、ボランティアグループ養成講座(全6講座・30人参加)を開催した。また、認知症の方や家族に必要な支援策について企画・立案を行うためプロジェクト会議を開催した。					
成果	認知症の理解を深めボランティアグループとサポーターの必要性を理解していただいた。また、関係機関との連携がとりやすくなり課題の共有化ができた。また、認知症の方や家族へ実際に支援をする拠点を増やすことができた。					
次年度課題	各地域にボランティアグループ支援拠点を設定できるように、ボランティアグループを増やしていく必要がある。また、認知症に関わる人同士が交流を持てる場の設定について検討を行う必要がある。					

地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能強化						平成25年度事業費計 1,622千円
小学校区ごとに地域会議を開催し、介護予防や高齢者の権利擁護についての啓発を行うとともに、住民からの相談を受け、早期に対応します。						
平成25年度事業	高齢者権利擁護事業1,622千円(高齢介護課)					
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	代表者会議、実務者会議の開催	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能を強化し、虐待事例に早期に対応	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能を強化し、虐待事例に早期に対応	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能を強化し、虐待事例に早期に対応	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能を強化し、虐待事例に早期に対応	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能を強化し、虐待事例に早期に対応
取組実績	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワーク会議(代表者会議、実務担当者会議、ネットワーク連絡会)において、虐待が疑われる事例について、関係者が集まり情報収集・共有を行い、対応についての協議を行った。					
成果	委員から市の対応について、幅広い意見を求めることができた。個別事例への対応だけではなく、地域全体での取り組みの必要性について共有することができた。					
次年度課題	児童や女性、障害の分野とも連携や、早期に通報が入るより一層の周知・啓発を行っていく必要がある。また、各小学校区単位での地域ケア会議を継続して取り組むことができる仕組みが必要である。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画		関係各課と連携を図りながら小学校区単位での地域ケア会議を開催	関係各課と連携を図りながら小学校区単位での地域ケア会議を開催	関係各課と連携を図りながら小学校区単位での地域ケア会議を開催	関係各課と連携を図りながら小学校区単位での地域ケア会議を開催	関係各課と連携を図りながら小学校区単位での地域ケア会議を開催
取組実績						
成果						
次年度課題						

「摂津みんなで体操三部作」の普及	平成25年度事業費計
	10,630千円

老人クラブ、各種サークル活動、デイサービスなどで普及するほか、イベントや各種講座などを通じて、新たなグループづくりの支援を行います。

平成25年度事業	地域介護予防活動支援事業350千円・介護予防普及啓発事業1,224千円(高齢介護課) 健康せつつ21推進事業9,056千円(保健福祉課)
----------	---

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	体操三部作の広報活動の拡充と自主グループの活動支援	体操三部作の広報活動の拡充と自主グループの活動支援の強化	体操三部作の広報活動の拡充と自主グループの活動支援の強化	体操三部作の広報活動の拡充と自主グループの活動支援の強化	体操三部作の広報活動の拡充と自主グループの活動支援の強化	体操三部作の広報活動の拡充と自主グループの活動支援の強化
取組実績	いきいき体操の会に依頼し、はつらつ元気アップ教室、健康体操等の講座や、市民体育祭、芸能文化祭などのイベントで三部作の紹介を行った(活動回数544回)。また、自主グループ支援についても依頼し、16グループを支援した。					
成果	高齢者が参加する介護予防教室のみでなく、市民体育祭や芸能文化祭でも三部作を紹介することで、若い世代に対しても周知することができた。また、市民の健康づくりへの関心も大きくなっており、自主グループの立ち上げ支援の希望も多くなってきた。					
次年度課題	自主グループの増加に伴い、支援の方法を検討する必要がある。					